

(別紙)

アイヌ施策推進地域計画 中間目標評価報告書

実施主体名	計画の名称	(中間) 目標年度
様似町	様似町アイヌ施策推進地域計画	令和4年度

1. 目標の達成状況

アイヌ施策推進地域計画における (中間) 目標	目標値 A	実績値 B	達成率(%) B / A	備考
① 町立様似図書館来館者数	5,000 人/年間	6,299 人/年間	126.0%	
② 町制施行 70 周年記念事業「写真展」参加者数	300 人/年間	305 人/年間	101.7%	
③ 町制施行 70 周年記念事業「トンコリ演奏会」参加者数	200 人/年間	290 人/年間	145.0%	
④ アポイ岳ジオパークビジターセンター来館者数	12,000 人/年間	9,584 人/年間	79.9%	
⑤ 様似郷土館来館者数	500 人/年間	563 人/年間	112.6%	
⑥ 国際交流事業への参加者数	—	—	—	令和 5~6 年度事業

アイヌ施策推進地域計画における (中間) 目標	達成状況	備考
① 町立様似図書館来館者数	コロナ禍における長時間利用の自粛やサービスの縮小は余儀なくされたが、来館者数は回復傾向にあり、目標を上回った。	
② 町制施行 70 周年記念事業「写真展」参加者数	コロナ禍のため外出を控える人が多くいるなか、目標を上回ることができた。	
③ 町制施行 70 周年記念事業「トンコリ演奏会」参加者数	町内外への周知が行き届き、目標を大幅に上回った。	
④ アポイ岳ジオパークビジターセンター来館者数	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のためのイベントの自粛、縮小などにより、目標を下回った。	
⑤ 様似郷土館来館者数	コロナ禍のなか、目標を上回った。	
⑥ 国際交流事業への参加者数	台湾への訪問に向けて準備を進めている。	令和 5~6 年度事業

(コメント)  
 コロナ禍におけるまん延防止対策として事業の中止や規模縮小による参加人数の減少により、若干目標に届かなかったものもあった。

2. (中間) 目標達成のために実施した各事業の進捗状況と効果

(文化振興事業：アイヌ古式舞踊等の資料デジタル化事業) 目標の達成状況④、⑤

事業の進捗状況	事業実施主体
各資料のデジタル化を完了し、目録を作成した。 (令和2年度) <ul style="list-style-type: none"> <li>古式舞踊音源収録及びCD・DVD制作</li> <li>音源デジタル変換・CD制作</li> </ul>	様似町
事業の効果	
貴重な資料を保全し、後世のための遺産として残すことができた。	

(文化振興事業：熊崎直平氏資料の整理及び資料目録作成事業) 目標の達成状況

事業の進捗状況	事業実施主体
資料の翻刻および仮目録を作成し、整理を進めることができた。 有識者を招いての検討会議を2回開催し、資料の内容について討議し、その貴重性について確認することができた。 また、今後の整理・公開の方法について意見を聴取し、さらなる検討を行うこととした。 (令和3年度) <ul style="list-style-type: none"> <li>資料の翻刻、仮目録の作成</li> <li>検討会議 参加者6名(有識者4名)</li> </ul> (令和4年度) <ul style="list-style-type: none"> <li>検討会議 参加者5名(有識者4名)</li> </ul>	様似町
事業の効果	
当該資料の価値を確認することができ、さらに整理・検討を進める方針が固まりつつある。	

(文化振興事業：アイヌ文化PR用動画の制作、公開、文化伝承用品の製作事業) 目標の達成状況④、⑤

事業の進捗状況	事業実施主体
各種アイヌ文化行事や古式舞踊・儀式・料理などの伝承活動の記録映像を制作した。 また、2年度にわたって、文化伝承・普及のための民族衣装を10セット製作した。 (令和2年度) <ul style="list-style-type: none"> <li>PR用動画、活動記録動画のシナリオの作成</li> <li>民族文化保存会活動記録動画の撮影</li> </ul>	様似町

(令和3年度) ・PR用動画、活動記録動画の撮影 ・文化伝承用品の製作 (令和4年度) ・PR用動画、活動記録動画の撮影・制作 ・文化伝承用品の製作	
事業の効果	
様似町のアイヌ文化について、後世のための記録を残し、それを分かりやすい形でまとめることにより、様似町のアイヌ民族の歴史や文化についてより広く知ってもらえる基礎資料を整備することができた。 また、地域の文化伝承活動で使用している民族衣装が老朽化しているということもあり、不足しているという近年の課題が解決に向かって前進した。	

(文化振興事業：写真展開催事業) 目標の達成状況②

事業の進捗状況	事業実施主体
令和4年度に迎えた町制施行70周年記念事業の一環として、写真展およびギャラリートークを開催し、町内外から多くの来場があった。	様似町
事業の効果	
アイヌ民族の現状について理解を深め、アイヌ民族・アイヌ文化の存在がより身近になり、関心を高めるきっかけを作ることができた。	

(文化振興事業：トンコリ演奏会事業) 目標の達成状況③

事業の進捗状況	事業実施主体
令和4年度に迎えた町制施行70周年記念事業の一環として、伝統と現代の融合したアイヌ音楽の演奏会を開催し、町内外から多くの参加者を得ることができた。	様似町
事業の効果	
地元のみならず、北海道内各地、さらに北海道外からも多くの来場があった。老若男女が集まり、それぞれがアイヌ音楽のリズムを楽しみ、また聞きたいとの声も多く寄せられ、アイヌ文化への関心がより高まることが期待できる。	

(文化振興事業：絵本・紙芝居・アニメーション制作事業) 目標の達成状況①

事業の進捗状況	事業実施主体
様似町に古くから伝わるアイヌ民族に係る伝承を正しく後世へ継承できるようデジタル化し、普及啓発を図るもの。 (令和3年度) ・平成4年発行のふるさと絵本「さまに昔むかし」の内容をもとにした、アニメーション制作事業の実施	様似町

(令和4年度)	・令和3年度制作のアニメーションをもとにした、絵本・紙芝居制作事業の実施
事業の効果	
<p>成果品については、町内の各施設へ設置し、社会教育・学校教育事業への活用をすすめるとともに、他地区のアイヌ協会や図書館等へ配布し、アイヌ文化の継承活動に利用している。</p> <p>また、アニメーションは YouTube を利用し幅広い層へ公開しているほか、絵本のデジタルブック化、登場するキャラクターをノベルティグッズにした広報活用をすすめていく。</p>	

(地域・産業振興事業：アポイ岳ジオパークビジターセンターアイヌ文化紹介設備改修事業) 目標の達成状況④

事業の進捗状況	事業実施主体
<p>アポイ岳ジオパークビジターセンター内にある既存の展示物をデジタルコンテンツ等を活用したものに刷新し、アイヌ語地名やその由来など、アイヌ文化に関する情報発信を行う施設整備を行った。</p> <p>(令和2年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクションマッピング設置</li> <li>・縦型デジタルサイネージプレーヤー及び映像制作</li> <li>・アクリル展示物スタンド</li> <li>・デジタルサイネージ展示映像切り替え装置</li> <li>・大型格子フレーム什器及びアクリル格子パネル</li> </ul>	様似町
事業の効果	
<p>アポイ岳ジオパークビジターセンターを訪れる町内小中学生をはじめ、来訪者が具体的なイメージを持って、アイヌ文化やアイヌ語地名などについて理解することができる展示物を構築することができたことで、アイヌ文化の普及活用・文化伝承の役割をはたすとともに、観光プロモーションの促進と活性化にも期待できる。</p>	

(地域・産業振興事業：アイヌ関連資料の調査研究及び普及活用事業) 目標の達成状況⑤

事業の進捗状況	事業実施主体
<p>アイヌ関連資料の調査研究及び体験活動用資料の制作を実施。</p> <p>また、アイヌの正装展示資料を制作するなど、郷土館内のアイヌ文化関連展示の拡充を図った。</p> <p>(令和2年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・矢本家文書内アイヌ関係資料の調査研究</li> <li>・郷土館アイヌ展示拡充</li> <li>・絵図「東蝦夷地シャマニ之景」のレプリカ作製</li> <li>・体験活動資料の作成及び運用</li> </ul>	様似町

(令和3年度) ・ 矢本家文書内アイヌ関係資料の調査研究 ・ 企画展の開催 ・ 絵図「東蝦夷シャマニ之景」のデジタル解説の作成 ・ 体験活動資料の作成及び運用	
事業の効果 矢本家文書の価値や内容について専門家による討議を経て、報告書の形でその所見を公開し、様似町のアイヌ民族の歴史についてより理解を深めるための基礎資料を作ることができた。 これまで存在を知られていなかった「東蝦夷地シャマニ之景」を多くの人に見てもらうことにより、様似におけるアイヌ民族の歴史についてより理解を深め、関心を高めることができた。 また、多くの人々が郷土館のリニューアルされた展示を見学し、様似町のアイヌ文化について理解を深め、関心を高めることができた。	

(コミュニティ活動支援事業：台湾原住民族との交流・研修事業) 目標の達成状況⑥

事業の進捗状況	事業実施主体
台湾訪問は新型コロナウイルスの影響で令和5年度に延期となったが、北海道在住の台湾原住民族の講師を招き、学習会を開催した。 (令和3年度) ・ 学習会「台湾原住民族を知る」の開催 (参加者12名)	様似町
事業の効果 学習会を開催することによって、台湾原住民族について多くを学び、意見交換をし、理解を深め、訪問に備えて参加者の意識と関心の高揚を図ることができた。	

### 3. 今後の方針等

(コメント) 本計画に基づくアイヌの伝統に関する理解の促進、観光・産業振興、地域内及び地域間の交流を目的とした各事業をアイヌ協会、民族文化保存会をはじめとした地域のアイヌ関係者及びその他関係機関との協力のもと、次年度以降も計画に掲げる目標達成のため、積極的に推進する。
---